

令和4年度事業報告

社会福祉法人 千代の会

令和4年度事業報告

社会福祉法人千代の会

1. 総括

(1) 法人関係

令和2年以来世界的に流行している新型コロナウイルス感染症については、令和4年度においても感染拡大が続いており、これまでのコロナウイルスより感染力の強い新たな変異株（オミクロン株）による感染者が全国的に増加しており、令和4年1月～6月にかけては第6波、7月～9月には第7波が押し寄せ、その後、感染状況が下火になったことで、海外の規制緩和状況を考慮し、合わせて国内経済の立て直しを図る観点から、国は方針転換を行い、行動制限の緩和を進めました。その結果、10月～令和5年1月にかけて第8波が押し寄せ、爆発的に感染者が増加しました。その後、2月に入り国内の感染状況の低下とともに、ワクチンの接種状況や重症化リスクが低い状況を鑑み、さらに制限緩和を進め、3月に入りマスク着用等については個人判断とし、令和5年5月8日以降については、現在の第2類感染症の位置づけを、季節性インフルエンザ同様の第5類感染症に引き下げると決定しました。

なお、厚労省の発表によると、令和2年に国内で新型コロナ患者が確認されてから本年度末で3年を経過しましたが、この間の感染者数は、3,100万人を超え、死亡者数も6万2,000人を超えた状況となっております。

みどりの風においても、お年寄りを新型コロナ感染症から守るため、関係者の協力を得て積極的なワクチン接種を進めるとともに、徹底的に感染対策を進めてきましたが、第8波の流行期において2回（第一回目＝R4.11.11～11.19・利用者10名、職員14名、第二回目＝R5.1.8～2.8・利用者10名、職員7名）のクラスターが発生してしまいました。

令和4年度は上半期において、増築部分を含み早期の満床に向けて努力し、10月末には、ほぼ目的達成の状況となりましたが、その後の2度のクラスター発生の影響から、結果的には、各事業ともクラスターの影響を受けたことで厳しい状況となってしまいました。

新型コロナについては、国の感染症の位置づけが変わり、第5類に引き下げられることで、一層の制限緩和が進むものと思いますが、これまでも新型コロナウイルスは変異を続けおり、感染防止に努める必要があります。

なお、第5類に引き下げられることで、これまで、新型コロナに関する費用（検査・ワクチン・入院費等）については、殆ど公費負担により対応されてきましたが、5月8日以降については、経過措置を経たうえで、順次、個人負担に移行するものと思われます。

そこで、引続き利用者を新型コロナウイルス感染症から守ると同時に法人経営の安定化を図るため、これまで以上に感染対策を徹底し、施設内への感染症持ち込みを防止することが必要となってきます。

また、長引くコロナ禍の中、入所者と家族等との面会を制限してきたことで、入所者の QOL

(Quality of life=生活の質)が低下していることから、周辺の感染状況を勘案したうえで、可能な限り面会制限の緩和を進めたいと思います。

但し、殆どの入所者が基礎疾患を持っていることから、感染により持病の悪化や合併症併発等の重症化リスクが高まることが想定されますので、外部との接触には最善の注意が必要であります。

なお、長引くコロナ禍において、令和4年度本法人が運営する各事業については、利用者感染症から守ることを優先に事業推進を図りましたが、第8波の流行期において、2度にわたってクラスターが発生したことで、利用者減に陥ってしまいました。

また、慢性化する介護員不足の解消に向け職員募集に努めましたが、相変わらず厳しい状況が続いています。

なお、3年前より介護員不足を補う目的で、海外(インドネシア)からの技能実習生の採用に努めていますが、コロナ禍により、昨年度までは海外からの渡航禁止措置が続いていましたが、令和4年に入り規制も緩和され、5月9日付で技能実習生4名を採用し、特定技能者についても9月6日付けで3名採用しました。

次年度以降についても、介護員不足が想定されることから、技能実習生はもとより、特定技能者についても計画的に採用していきたいと考えております。

我が国は、災害が多い国です。近年では、2011年3月に発生した東日本大震災や熊本地震、さらには、度重なる水害等により甚大な被害が発生し、多くの方が犠牲になっております。

令和元年10月10日から13日にかけて、日本列島を襲った台風19号による水害では、近隣の佐野市・足利市をはじめ広範囲に被害が発生しました。

本町においても、舞木地区の一部が水路の溢水により冠水しました。

最終的には、千代田町全町に避難指示が出されましたが、みどりの風においては、幹部職員が待機の上、SNS及び行政等が発する情報を収集したうえで入所者の避難を行いました。

今後は、さらに万全を期すため、職員の防災意識の高揚を図るとともに、定期的な避難訓練を実施し、地域との連携を密にし、早め早めの対応を心がける必要があります。

(2) 会議の開催

1. 各種会議関係報告

○今年度においても新型コロナ対策の為、地域の感染状況を考慮して、第2回理事会については書面審議とした。

(1) 監事監査……6月9日(木)令和3年度事業及び決算について監事監査実施

(2) 理事会

1) 第1回理事会……6月17日(金)

・第1号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会事業結果報告について(承認)

- ・第2号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会歳入歳出決算について（承認）
 - ・第3号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会監査報告について（承認）
- 2) 第2回理事会（書面審議：意見集約＝10月18日）
- ・第1号議案：居宅介護支援事業所みどりの風運営規定の変更について（承認）
 - ・第2号議案：社会福祉法人千代の会育児・介護等規則の改正について（承認）
 - ・第3号議案： 〃 職員就業規則の改正について（承認）
- 3) 第3回理事会……令和5年3月23日（金）
- ・第1号議案：令和4年度社会福祉法人千代の会歳入歳出補正予算（第1号）について（承認）
 - ・第2号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会事業計画について（承認）
 - ・第3号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会歳入歳出予算について（承認）
 - ・第4号議案：社会福祉法人千代の会監事の推薦について（承認）

（3） 評議員会

- 1) 第1回評議員会……令和4年6月24日（金）
- ・第1号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会事業結果報告について（承認）
 - ・第2号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会歳入歳出決算について（承認）
 - ・第3号議案：令和3年度社会福祉法人千代の会監査報告について（承認）
- 2) 第2回評議員会……令和5年3月30日（木）
- ・第1号議案：令和4年度社会福祉法人千代の会歳入歳出補正予算（第1号）について（承認）
 - ・第2号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会事業計画について（承認）
 - ・第3号議案：令和5年度社会福祉法人千代の会歳入歳出予算について（承認）
 - ・第4号議案：社会福祉法人千代の会監事の選任について（承認）

（4） 職員の外部研修

コロナ禍の状況下、オンラインで研修に参加。

2. 職員人事・処遇についての報告

（1） 職員の採用

・令和4年度においても職員不足が続いている中、増築部分の開設に向けて、関係職員（必要人数＝介護職員8名）の採用に努めたが、以下のとおり厳しい状況でした。

なお、本年度に入り、新型コロナウイルス感染者数が減少傾向となったことから、入国制限も緩和されたことで、本年度予定された技能実習生（4名）については、5月9日に採用。また、特定技能者（3名）については、9月6日に採用しました。

○新規採用……ケアマネ……2名、介護職員……正職員2名、介護臨時職員7名 計11名

○退職者 ……ケアマネ……1名、看護職員1名、介護職員……6名……介護臨時職員3名

計11名

(2) 職員処遇

- ・6月30日付で正職員については、夏季賞与（1.7ヶ月）支払。臨時職員についても、勤務状況により、賞与として3万円～5万円支払いました。
- ・6月30日付で令和3年度分介護職員処遇改善加算金（介護職員のみ）及び特定処遇改善加算金（過年度分）を支給しました。
- ・12月15日付で正職員については、冬季賞与（2.0ヶ月）支払。臨時職員についても、勤務状況により、賞与として3万円～8万円支払いました。
- ・本年度も介護職員については、処遇改善加算を原資に、その他の職員については法人負担により定期昇給（1%～2%程度）を実施しましたが、令和4年4月～12月受給分の処遇改善加算の差額分及び特定処遇改善加算分について、3月31日に一時金として支給しました。

また、令和4年2月から受給している介護職員等処遇改善支援補助金については、毎月の手当てとして支給しております。（令和4年10月分からは、ベースアップ加算に名称替）

3. 事業関係の報告

○コロナ禍の中、令和4年度におけるみどりの風の各事業についての実績は、別表のとおりでした。

- 1) 特養及びショートステイ事業・・・新型コロナウイルス感染症拡大により、入所者の安全確保の観点から引続き家族等の直接面会は禁止しておりました。さらには、長引く外出制限により入所者のストレスは増加し、重度化も進んだことで、看取り期の方も多くなっていることから、亡くなる方が頻発しましたが、新規入所（特にSS）については、コロナ禍から待機者（入所候補者）の調査等も慎重な対応が必要であり、空床ができてもすぐには入所できず、新規入所が追いつけない状況でありました。

また、一昨年度増築された2ユニット（たんぼぼユニット・れんげユニット）計20床の早期開所を目指しましたが、コロナ禍と職員不足もあり、2ユニットの同時開所はできずにたんぼぼユニットのみを昨年8月から開所し、本年度は、残りのれんげユニットについて5月より開所し、入所希望者の調整を進めたため、10月にはほぼ満床になりました。

しかし、11月と令和5年1月の2度にわたり、新型コロナウイルス第8波によるクラスターが発生してしまい、別表のとおり稼働率減に陥ってしまいました。

- 2) デイサービス事業・・・新型コロナウイルス感染症拡大の中、利用者の健康状況を最優先にサービスの提供を続けてきたため、新規利用者の増にはなりませんでした。

また、本年11月と令和5年1月の2度にわたり、新型コロナウイルス第8波によるクラスターが発生してしまい、感染拡大防止のため7日間の営業自粛等を行ったことから、利用者減に陥ってしまいました。

なお、令和4年度における利用実績は新型コロナの影響から、別表のとおり減少傾向でした。

3)居宅介護支援事業……コロナ禍の中、本年9月にケアマネジャー1名を採用し、2名体制となり、コロナ禍の中、利用者増を図ったところ別表のとおり、徐々にではありますが増加傾向になってはいますが、今後も引続き利用者の獲得を目指します。

なお、令和4年度における利用実績は、別表のとおりでありました。

4. 工事及び修繕関係についての報告

○主な修繕費関係

ア. エアコン修繕……………	¥57,200円 (パナソニック) 5月分
イ. エコキュート修理 ……	¥131,098円 (三菱電機) 5月分
ウ. 実習生寄宿舍屋根等修繕……	¥302,500円 (新和建设) 8月修理分
エ. DSエアコン基盤交換 ……	¥57,200円 (パナソニック) 12月修理分
オ. 厨房水栓・個浴シャワー修繕……	¥246,400円 (//) R5. 2月修理分
カ. エアコン修繕 ……	¥57,200円 (パナソニック) 3月分
キ. その他……	¥256,567円
○修繕費合計	¥1,108,165円

令和5年5月16日

令和4年度の主な事業報告

社会福祉法人 千代の会

社会福祉事業

<特別養護老人ホーム (ユニット) 関係>

- 1 施設での日常生活において、各ユニットが入居者様への ADL (Activities of Daily Living 日常生活動作) 把握、向上、低下の防止 (維持) を図り、サービスの質の向上、又、職員の資質向上を目標に日々取り組みました。

① 移動・移乗の自立向上・支援

- ・コロナ禍における外出が出来ない状況やユニット内での隔離状況など様々な行動に制限がかかり、それが長期的に続いたこともあって施設全体として ADL の低下が見られました。

② 食事の自立向上・支援

- ・入居者様の嚥下状態を見極め、把握し、それぞれに適した食事形態を検討して提供することで、自力摂取、咀嚼を促すことへの支援に努めました。
- ・栄養マネジメントの観点から、個々の状態に合わせ、身体の維持・向上、体重コントロールに努めました。

③ 排泄の自立向上・支援

- ・医務との連携により、身体的なリスクを伴わないよう、個々に合った排便コントロールに努めました。

④ その他の生活動作に関する自立向上・支援

- ・①同様、一定の距離感と交流の制限があった為、本来提供すべき援助は出来なかったと言えます。しかし、誰もが初めて経験する環境下での QOL (Quality of life 生活の質) の向上に対する職員の葛藤や経験は今後のサービス提供のやり方について大きく考えさせられるものとなりました。来年度に活かせるよう努めていきたいと思えます。

⑤ 環境整備に関する取り組み・支援

【人手不足の対策・取り組み及び海外技能実習生の受け入れ】

- ・コロナ禍と職員の人手不足が例年続いていました。昨年度は海外の技能実習生及び特定技能者が多く入職したこともあり、コロナ禍の様々な制限は継続していたものの、人手不足の不安は緩和されました。しかし、即戦力とはならないことと、育成期間が通常の職員よりも1年と長期間なため、実際は人手不足の状況に加えて指導と感染対策が職員にかなりの負担を与えてしまいました。

【機械浴槽の購入検討】

- ・機械浴槽が15年以上と寿命を迎えており、バッテリーが停止してしまうなど相次ぐトラブルが発生しました。開設当初に購入した機種ということもあり、部品が生産中止となり、これ以上の修理が不可とメーカーからも言われたため、ベッド機械浴槽の購入を検討しました。

【令和4年度 月別稼働率】

	入所	短期	合計
4月	74.4%	168.8%	84.1%
5月	75.6%	148.0%	83.0%
6月	80.8%	106.3%	83.4%
7月	80.7%	110.1%	83.7%
8月	80.8%	127.8%	85.6%
9月	83.0%	109.2%	85.7%
10月	85.6%	172.2%	94.5%
11月	84.9%	137.5%	90.3%
12月	79.2%	157.7%	87.3%
1月	75.4%	175.0%	85.6%
2月	74.7%	170.5%	84.5%
3月	75.6%	179.4%	86.2%

令和3年度は増床した20床を職員不足等の理由から閉鎖していたため、50人に対しての稼働を報告していました。令和4年度は70人に対しての稼働状況となっています。

10月まで、満床に向けて比較的順調でしたが、11月に入るとコロナ感染拡大、施設内クラスターも2度発生するという状況になってしまい、SSの中止、新規入所の受け入れ中

止と、大きく稼働を落としてしまいました。

【面会・連絡について】

- ・コロナ禍により原則面会が行えなくなったため、各ユニットの入居者様の状態が御家族様に伝わるように、電話又はLINE 電話による面会を継続して行いました。
ホームページの活用、写真や手紙などの送付も継続して行いました。
- ・重要な連絡に関しては、御家族様とみどりの風で混乱を避けるため、管理者又は各リーダーが行いました。

⑥ 職員の資質向上と施設内研修の充実

- ・コロナウイルスの影響で殆どの研修は中止又は延期となりました。
(一部行ったものはZoom などオンラインセミナーで参加)

2 社会的自立向上

① 地域社会との交流

- ・ほぼ全ての交流がコロナ禍により中止となりました。(訪問の床屋や歯医者など一部を除く)

令和 4 年度 事業報告書

社会福祉法人 千代の会

通所介護事業

令和 4 年度事業計画	結果報告
<p>I 通所介護事業基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険法の趣旨に従い、利用者が可能な限り居室において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるようサービスを提供します。 2. 必要な日常生活上の介助および機能訓練・生活リハビリ等を行う事により、利用者の社会的孤立感の解消および心身機能の維持ならびに、利用者家族の身体的および精神的負担の軽減を図ります。 3. 家庭に引きこもりがちな高齢者が通所を利用することにより、生活に“ハリ”“リズム”をつくり精神的安定が図れるように努めます。 4. ゆったりとした安全な環境をつくり、住み慣れた地域で家庭生活を継続できるようにします。 5. 地域とのつながり、家族とのふれあい、ボランティアの受け入れにより、地域に開かれたデイサービスを目指します。 	<p>I</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアプランをもとに通所介護計画書を作成し個々の利用者の方に合わせた入浴、排泄、食事のサービスを提供することができました。できることは自分で行ってもらうなど、自立を促すことに努めることができました。 2. レクリエーションや体操を提供することによって体を動かし、身体機能の維持等に寄与することができました。また、レクリエーションや体操を通じて他者との交流につながることもできました。夕食の提供なども行い、家族の負担軽減にもつながりました。 3. 今年度も外出行事などは行えなかったが、食行事などを定期的に行い、調理をしてもらうことにより、上記2の生活リハビリにもつながり、食に対する興味も持てました。 4. 生活導線を広くとるなど安全面に配慮できました。 5. コロナ禍のためボランティアの受け入れはできませんでしたが、職員等による演舞会などを行いました。
<p>II 年間目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者や家族との信頼関係を深め、ケアの質の向上を図ります。 2. 他職種間での連携を密にとり、利用者の QOL の向上に努め、満足のゆくサービス提供を行います 	<p>II</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連絡帳でデイサービスでの様子などを報告、または連絡をもらい情報共有に努めました。 2. 朝の申し送りや申し送りノートを使うことで、情報の共有ができました。

<p>III 個別ケアの取組み</p> <p>利用者個々の望みや課題を利用者の立場に立って正確に把握し、通所介護計画を立案し、プランに沿った援助を行います。</p>	<p>III</p> <p>ケアプランを元に通所介護計画書を作成し、それに則って介護提供することができました。</p> <p>定期的な通所介護計画書の見直しも行うことができました。</p>
<p>IV 家族との信頼関係の構築</p> <p>在宅サービスは、ご家族にとっても心身にゆとりの持てる時間を提供する側面もあることから、安心して利用者を送り出せるように、ご家族に対しても日ごろからコミュニケーションをとり、良好な信頼関係を築き、お互いに協力できる体制を作ります。</p>	<p>IV</p> <p>送迎の際や連絡帳を通して、コミュニケーションをとったりすることができました。デイサービスの新聞の配布やホームページでデイサービスでの様子の報告に努めることができました。</p> <p>適時、通所介護計画の評価も報告し、見直すことができました。</p>
<p>V 関連機関との連携</p> <p>介護支援専門員、地域の関係機関との連携・協力を努めます。また、サービス提供場面で得られる利用者や御家族の情報を居宅支援事業所へ提供し、情報の共有をします。</p> <p>特別養護老人ホーム併設のユニットとの連携・協力の強化を一層図り、事業所として地域に安心感を与え、信頼に努めます。</p>	<p>V</p> <p>居宅介護事業所など毎月の利用者の様子をモニタリングし、報告ができました。また、体調の変化など、家族や居宅介護事業所に報告ができました。</p>
<p>VI 職員の資質向上</p> <p>サービスの向上を図るため、施設内研修を実施しケアの基本・専門知識を修得します。専門性の高い研修については、外部機関が実施する研修に参加し最新情報を修得します。また、毎日のミーティングと毎月の通所会議では業務内容やサービスについて話し合い、職員全員に周知します。</p>	<p>VI</p> <p>コロナ禍のため研修自体が減少しましたが、リモート研修に移行することで、業務の合間に研修に参加することができました。</p> <p>また、毎日の朝のミーティング・申し送りノートで情報の共有が図れました。</p>
<p>VII 事業活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. デイサービスの稼働率72%（一日平均18名）を目指します。 2. 新規利用者獲得のため、ホームページやパンフレットを活用し、体験利用なども含め広報活動に努めます。 3. 居宅支援事業所や自立支援センターとの連携強化に努めます。 	<p>VII</p> <p>1.2.3</p> <p>年間延べ利用者数 4,188名（前年度比 -70名）、一日の平均利用者数 13.7名（前年度比 ±0名）。稼働率 54.9%（前年度比+0.1%）。</p> <p>前年度と比較し横ばいにて推移。新規利用者 16名。また職員、利用者のコロナ感染のため 11/12～11/18 の7日間営業自粛を行いました。</p> <p>引き続きパンフレットやホームページを活用して広報活動やケアマネージャーとの連携を図ります。</p>
<p>VIII 年間行事計画</p>	<p>VIII</p> <p>当初の計画通り概ね実施できました。</p>

IX 施設内研修

IX

上記VIに準じます。

居宅介護支援部門 令和4年度総括

令和4年度は前年度と比較して、「居宅介護支援件数」の年間延べ利用者数は359件（前年度比+37件）、「居宅介護予防件数」の年間延べ利用者数は94件（前年度比+43件）、合計年間延べ利用者数は453件（前年度比+80件）でした。

令和2年度末で、介護支援専門員1名退職後から介護支援専門員が1名体制となり、件数利用が減少し業務を行っていましたが、令和4年9月から介護支援専門員が1人増え、新規相談は町内及び近隣市町の行政、病院連携室、地域包括支援センターから前年度よりも増えていますが、今後も件数増加できるよう努力していきたいと考えます。

居宅介護支援業務においては、2人体制になって利用者本人、家族への相談支援、他の事業所への資料の提供、認定調査も件数をこなすように取り組めたと思います。しかし、実務において技術、知識ともにまだまだ未熟であるため、向上できるように努めたいと思います。

各行政、地域包括支援センター、近隣病院からの相談を受けた際には、すぐに対応ができるよう取り組むことができたので、今後も継続していきたいと思います。

近隣市町村の研修への参加や各サービス事業者との連携は、計画通りに進まなかったため、来年度は積極的に参加できるようにしていきたい。

今年度は、2人体制となったので、担当件数を増加させるよう努力しながら、本人、家族への相談支援を行っていきたい。さらに、自事業所だけではなく、他事業所も利用ができるよう連携ができるようにしていきたいと思います。

厨房 令和4年度事業報告

項目	実施	業者	備考	
防除作業	年1回	伊藤ビル管理事務所	11月	
貯水槽清掃	年1回	伊藤ビル管理事務所	11月	
水質検査	年2回	伊藤ビル管理事務所	6月・12月	
カートリッジ交換	4月	ホシザキ	スチームコンベクションオープン用	
非常食購入	随時	雄峯食品 ヘルシーフード	期限切れによる入替え (入替え時はニッコトラスト買取で消費)	
食品購入	随時	雄峯食品 ヘルシーフード 市川園	ユニット・デイ利用者用飲料 トロミ剤	
通常外の食事代	年3回	ニッコトラスト	おせち料理・春御膳・敬老御膳	
食器購入	随時	信濃化学	食器、フードプロセッサ、ミキサー	
消耗品購入	毎月	島岡商店 三洋商事 クリバ	手袋・ペーパータオル・洗剤等	
修繕	パススルー冷蔵庫	4月15日	ホシザキ	コンプレッサ制御不良の為、部品交換
	休憩室エアコン	7月20日	ヤマダ電機	エアコン買い替え
冷蔵庫、洗浄機保守契約	年間	ホシザキ	保守点検を実施	
給食会議	毎月		相談室にて開催	
食品自主検査	年2回	ニッコトラスト	9月・12月	
千代田町栄養・食生活改善 業務推進協議会	年6回		千代田町総合保健福祉センターにて開催	

厨房 令和4年度事業報告

食行事

月	行事	時間帯	内容
4	お花見	昼	春御膳(重箱)
		おやつ	桜のロールケーキ
5	こどもの日	おやつ	鯉のぼりのおやき
7	七夕	昼	七夕献立(そうめん)
	土用丑の日	昼	うなぎちらし
	企画	おやつ	すいか割り
8	盆	おやつ	おはぎ
9	敬老の日	昼	敬老御膳(重箱)
11	秋の味覚	昼	秋刀魚の塩焼き
		おやつ	おはぎ
12	冬至	おやつ	かぼちゃプリン
	クリスマス	昼	クリスマスメニュー
	クリスマス	おやつ	クリスマスケーキ
	大晦日	昼	年越しそば
1	元旦	昼	おせち料理(重箱)
	七草粥	朝	七草粥
	鏡開き	おやつ	おしるこ
2	節分	昼	恵方巻、福豆の提供
	初午	昼	しもつかれ
	バレンタイン	おやつ	バレンタインおやつ
3	ひな祭り	昼	ひなまつり献立
	ひな祭り	おやつ	ひなあられ
	春彼岸	おやつ	おはぎ

令和4年度事業別利用実績(R4年4月～R5年3月)

1. 特養事業

2021年度					2022年度					
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	前年対比(%)
4	30	50	1,407	93.8	4	30	70	1562	74.4	-19.4
5	31	50	1,407	90.8	5	31	70	1640	75.6	-15.2
6	30	50	1,335	89.0	6	30	70	1696	80.8	-8.2
7	31	50	1,365	88.1	7	31	70	1752	80.7	-7.4
8	31	60	1,580	84.9	8	31	70	1754	80.8	-4.1
9	30	60	1,596	88.7	9	30	70	1743	83.0	-5.7
10	31	60	1,656	89.0	10	31	70	1858	85.6	-3.4
11	30	60	1,574	87.4	11	30	70	1783	84.9	-2.5
12	31	60	1,606	86.3	12	31	70	1719	79.2	-7.1
1	31	60	1,604	86.2	1	31	70	1636	75.4	-10.8
2	28	60	1,471	87.6	2	28	70	1464	74.7	-12.9
3	31	60	1,568	84.3	3	31	70	1640	75.6	-8.7
計	365	20,680	18,169	87.9	計	365	25,550	20,247	0.2	-8.7

2. 短期入所事業

2021年度					2022年度					
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	前年対比(%)
4	30	8	266	110.8	4	30	8	405	168.8	58.0
5	31	8	242	97.6	5	31	8	367	148.0	50.4
6	30	8	242	100.8	6	30	8	255	106.3	5.5
7	31	8	252	101.6	7	31	8	273	110.1	8.5
8	31	8	116	46.8	8	31	8	317	127.8	81.0
9	30	8	167	69.6	9	30	8	262	109.2	39.6
10	31	8	238	96.0	10	31	8	427	172.2	76.2
11	30	8	301	125.4	11	30	8	330	137.5	12.1
12	31	8	274	110.5	12	31	8	391	157.7	47.2
1	31	8	357	144.0	1	31	8	434	175.0	31.0
2	28	8	432	192.9	2	28	8	382	170.5	-22.4
3	31	8	467	188.3	3	31	8	445	179.4	-8.9
計	365	2,920	3,354	114.9	計	365	2,920	4,288	146.8	31.9
R3年度特養実績		23,600	21,523	91.2	R4年度特養実績		28,470	24,535	86.2	-5.0

3. 通所介護事業

2021年度					2022年度					
月	日数	定数	利用者数	稼働率	月	日数	定数	利用者数	稼働率	前年対比(%)
4	26	25	348	53.5	4	26	25	343	52.8	-0.7
5	26	25	359	55.2	5	26	25	343	52.8	-2.4
6	26	25	363	55.8	6	26	25	360	55.4	-0.4
7	27	25	361	53.5	7	26	25	341	52.5	-1.0
8	26	25	334	51.4	8	27	25	378	56.0	4.6
9	26	25	360	55.4	9	26	25	395	60.8	5.4
10	26	25	353	54.3	10	26	25	370	56.9	2.6
11	26	25	376	57.8	11	20	25	247	49.4	-8.4
12	27	25	403	59.7	12	27	25	387	57.3	-2.4
1	24	25	329	54.8	1	24	25	318	53.0	-1.8
2	24	25	316	52.7	2	24	25	338	56.3	3.6
3	27	25	356	52.7	3	27	25	368	54.5	1.8
計	311	25	4,258	54.8	計	305	25	4,188	54.9	0.1

4. 居宅介護支援事業

2021年度					2022年度					
月	ケアプラン作成		合計	備考	月	ケアプラン作成		合計	対前年比	
	要支援	要介護				要支援	要介護		件数	比率(%)
4	4	28	32		4	5	24	29	-3	90.6
5	4	26	30		5	5	25	30	0	100.0
6	4	25	29		6	5	25	30	1	103.4
7	4	27	31		7	5	22	27	-4	87.1
8	4	25	29		8	5	28	33	4	113.8
9	4	26	30		9	7	26	33	3	110.0
10	4	28	32		10	7	28	35	3	109.4
11	4	27	31		11	10	32	42	11	135.5
12	4	28	32		12	11	32	43	11	134.4
1	5	28	33		1	10	32	42	9	127.3
2	5	28	33		2	11	38	49	16	148.5
3	5	26	31		3	13	47	60	29	193.5
計	51	322	373		計	94	359	453	80	121.4